



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 極洋
コード番号 1301 URL <http://www.kyokuyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 久樹
問合せ先責任者 (役職名) 企画部長 (氏名) 上島 幹雄

TEL 03-5545-0703

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	85,541	△2.5	393	△48.4	612	△39.3	160	△58.6
24年3月期第2四半期	87,763	13.1	762	37.2	1,009	46.0	386	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △38百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 254百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	1.53	—
24年3月期第2四半期	3.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年3月期第2四半期	83,542	—	16,633	—	19.6
24年3月期	84,937	—	17,212	—	20.0

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 16,375百万円 24年3月期 16,965百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	—	—	—	5.00	5.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	175,000	△3.8	2,000	22.2	2,200	28.8	1,100	160.0	10.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会社方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	109,282,837 株	24年3月期	109,282,837 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	4,248,081 株	24年3月期	4,248,051 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	105,034,766 株	24年3月期2Q	105,035,037 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
当社は、平成24年11月12日に機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2 P
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2 P
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3 P
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3 P
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3 P
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3 P
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3 P
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3 P
3. 四半期連結財務諸表	4 P
(1) 四半期連結貸借対照表	4 P
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6 P
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8 P
(4) 継続企業の前提に関する注記	9 P
(5) セグメント情報等	9 P
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9 P

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要などを背景として底堅く推移してきましたが、欧州債務問題の長期化や米国の財政問題、中国経済をはじめとする新興国経済の減速など世界経済の先行きに対する見通しは依然として不透明な状況が続いております。

水産・食品業界におきましても、消費者の生活防衛意識による節約志向、低価格志向が継続しており、個人消費は盛り上がり欠ける展開となっております。

このような状況のもとで当社グループは、新中期経営計画『パワーアップキョクヨー2015』に基づき、「キョクヨーグループの優位性を強化、拡充し、安心・安全で競争力のある商品の提供により、グループ企業価値の最大化を実現する」ことを基本目標に据え、目標達成に向けて取り組んでおります。

水産商事事業セグメントでは、冷凍魚の切身加工やえび・かにの剥き身など加工を施した付加価値商品の販売に努めましたが、チリ銀鮭の供給過剰などによる水産物市況の大幅な落ち込みにより、売上、利益ともに前年同期を下回りました。

冷凍食品事業セグメントにおける水産冷凍食品では、寿司種を中心とした生食用商品を外食ルートに、さばを中心とした骨なし切身、焼魚、煮魚などの加熱用商品を医療食や宅配ルート、大手量販店向けに拡販を行いました。調理冷凍食品は、量販店やコンビニ向けに水産フライ類に加え、畜肉製品など惣菜類の販促に努めました。その結果、この部門の売上は前年同期を上回りましたが、生産コストの上昇や販売競争の激化により、利益は下回りました。

常温食品事業セグメントでは、生産設備の復旧が進んだ国内協力工場の水産缶詰を中心に、輸入缶詰や畜肉缶詰、海産珍味類などを量販店や大手コンビニルートへ拡販するとともに新規商材の開発に努め、売上は前年同期を上回ったものの、原料価格の上昇や販売競争激化により利益は下回りました。

物流サービス事業セグメントにおける冷蔵倉庫事業では、営業力強化と事業の効率化に努めました。冷蔵運搬船事業は、運賃市況の低迷に加え、燃料価格の高止まりや円高の継続など厳しい状況のなか、バナナ輸送の年間契約の獲得及び備船契約の一部解除によるコスト削減に努めました。その結果、この部門は売上は前期同期を上回ったものの、船舶のスポット運航の低迷により利益は下回りました。

鯉・鮪事業セグメントにおけるかつお・まぐろ加工及び販売事業は、国内外からの原料調達ルートの拡充を図り、安定的な原料確保に注力し、大手回転寿司チェーン店や量販店などへの拡販に努めたものの、原料高、製品価格の競争激化の影響を受けました。海外まき網事業は、漁獲量の増加や魚価の堅調推移により、所期の計画を上回りました。養殖事業は、順調な生育状況のもと品質に対する評価も高く、好調に推移しました。その結果、この部門は売上、利益ともに前年同期を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は855億41百万円(前年同期比2.5%減)、営業利益は3億93百万円(前年同期比48.4%減)、経常利益は6億12百万円(前年同期比39.3%減)、四半期純利益は1億60百万円(前年同期比58.6%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13億95百万円減少し、835億42百万円となりました。

流動資産は、たな卸資産が増加したものの、受取手形及び売掛金が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ9億14百万円減少し、639億10百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の減価償却などにより、前連結会計年度末に比べ4億80百万円減少し、196億32百万円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金並びにコマーシャル・ペーパーが増加したものの、借入金が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ8億16百万円減少し、669億9百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5億78百万円減少し、166億33百万円となりました。

この結果、自己資本比率は19.6%(前連結会計年度末比0.4ポイント減)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想に関しましては、今後とも水産・食品業界を取り巻く環境は厳しいものと予想され、第2四半期までの落ち込みをカバーするまでには至らないと判断し、平成24年10月26日に業績予想の修正を行っております。

今後何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動の概要

該当する事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当する事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,496	3,178
受取手形及び売掛金	23,722	22,669
たな卸資産	33,756	34,504
その他	3,894	3,581
貸倒引当金	△45	△24
流動資産合計	64,824	63,910
固定資産		
有形固定資産	11,574	11,336
無形固定資産		
のれん	318	274
その他	412	384
無形固定資産合計	730	659
投資その他の資産		
投資有価証券	4,226	3,872
その他	3,602	3,767
貸倒引当金	△20	△3
投資その他の資産合計	7,807	7,636
固定資産合計	20,113	19,632
資産合計	84,937	83,542

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,913	7,600
短期借入金	39,205	33,360
コマーシャル・ペーパー	5,000	10,000
未払法人税等	887	464
引当金	750	753
その他	5,973	5,888
流動負債合計	58,730	58,067
固定負債		
長期借入金	2,797	2,359
退職給付引当金	5,155	5,484
その他の引当金	78	85
資産除去債務	50	50
その他	913	861
固定負債合計	8,995	8,841
負債合計	67,725	66,909
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,664	5,664
資本剰余金	749	749
利益剰余金	12,017	11,652
自己株式	△747	△747
株主資本合計	17,683	17,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△669	△866
繰延ヘッジ損益	61	8
為替換算調整勘定	△109	△84
その他の包括利益累計額合計	△717	△942
少数株主持分	246	257
純資産合計	17,212	16,633
負債純資産合計	84,937	83,542

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	87,763	85,541
売上原価	78,078	76,028
売上総利益	9,684	9,513
販売費及び一般管理費	8,922	9,119
営業利益	762	393
営業外収益		
受取利息	41	38
受取配当金	73	75
為替差益	197	125
その他	165	189
営業外収益合計	478	428
営業外費用		
支払利息	200	191
その他	30	18
営業外費用合計	231	209
経常利益	1,009	612
特別利益		
固定資産処分益	0	10
国庫補助金	—	30
特別利益合計	0	41
特別損失		
固定資産処分損	1	1
投資有価証券評価損	1	39
投資有価証券売却損	0	—
その他	0	3
特別損失合計	3	45
税金等調整前四半期純利益	1,006	609
法人税、住民税及び事業税	816	455
法人税等調整額	△173	△8
法人税等合計	643	447
少数株主損益調整前四半期純利益	362	161
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△23	1
四半期純利益	386	160

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△23	1
少数株主損益調整前四半期純利益	362	161
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40	△196
繰延ヘッジ損益	△76	△52
為替換算調整勘定	9	49
その他の包括利益合計	△108	△200
四半期包括利益	254	△38
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	272	△64
少数株主に係る四半期包括利益	△17	25

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,006	609
減価償却費	932	831
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△38
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	415	328
その他の引当金の増減額 (△は減少)	26	9
受取利息及び受取配当金	△115	△113
支払利息	200	191
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,380	1,032
その他の債権の増減額 (△は増加)	△575	16
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,580	△732
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,013	751
その他	458	39
小計	△6,600	2,926
利息及び配当金の受取額	110	113
利息の支払額	△205	△191
法人税等の支払額	△1,028	△844
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,723	2,003
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△345	△550
固定資産の売却による収入	0	12
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
投資有価証券の売却による収入	3	—
子会社株式の取得による支出	△252	—
貸付けによる支出	△5	△847
貸付金の回収による収入	178	960
その他	△3	99
投資活動によるキャッシュ・フロー	△430	△331
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,955	△5,869
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	5,000	5,000
長期借入金の返済による支出	△519	△439
配当金の支払額	△525	△525
その他	△191	△178
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,719	△2,012
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△445	△342
現金及び現金同等物の期首残高	3,322	3,438
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,877	3,095

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当する事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鯉・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	43,181	22,968	6,730	1,833	13,012	36	87,763	—	87,763
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,973	923	106	497	603	438	9,543	△9,543	—
計	50,155	23,892	6,836	2,331	13,615	475	97,307	△9,543	87,763
セグメント利益又は 損失(△)	788	214	78	△231	104	68	1,023	△260	762

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額260百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用312百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当する事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鯉・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	38,475	23,689	7,478	2,016	13,846	34	85,541	—	85,541
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,733	1,424	80	500	493	435	10,668	△10,668	—
計	46,209	25,114	7,559	2,516	14,340	469	96,210	△10,668	85,541
セグメント利益又は 損失(△)	227	98	36	△297	528	47	641	△248	393

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額248百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用335百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当する事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当する事項はありません。